

# 苦痛のない胃内視鏡検査 ～経鼻内視鏡のすすめ～

消化器科内視鏡医長 松村俊二

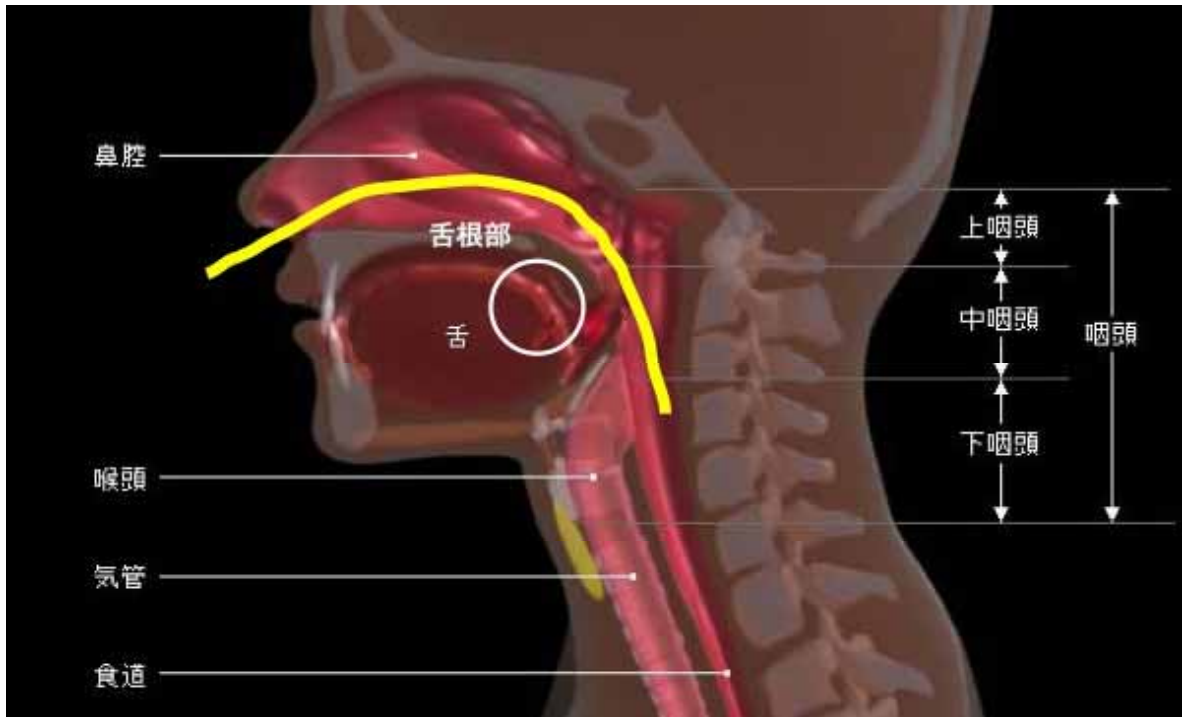
これまで「胃カメラは辛いから・・・」と検査を敬遠されていた方や仕方なく検査を受けてこられた方に朗報です！

吉島病院では平成18年1月より、広島市内の病院としては初めて経鼻内視鏡による胃内視鏡検査を導入し、年間約3000件の検査実績を誇っています。

## 【経鼻内視鏡とは】

経鼻内視鏡とは「鼻から挿入出来る細い内視鏡」のことで、直径はわずか5.9mmです。最大の特徴は、口の中を通さないため「胃カメラは辛い」とされる嘔吐反射やのどの違和感がほとんどないことです（図1）。しかも高解像度CCDの採用により、画像は鮮明で、細くてもちゃんと診断出来ます。もちろん、潰瘍や癌などの病変が見つければ細胞を調べることも出来ます。

図 1



### 【 経 鼻 法 の 利 点 】

嘔吐反射やのどの違和感がほとんどないのはもちろんのこと，原則的に鎮静剤などの注射は必要ないので安全です。終了後に車の運転もできますし，すぐに仕事にも復帰できます（図 2）。さらに，喉に麻酔をしませんので検査終了後早期に飲食が可能です（図 3）。

図 2



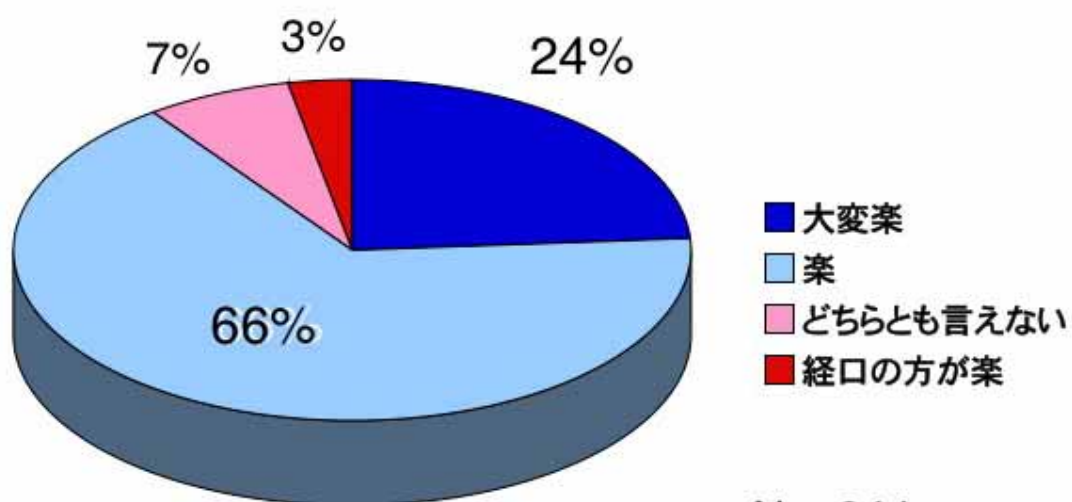
図 3



【患者様からの評価】

これまでに当院で行った経鼻内視鏡検査でも90%の方が「大変楽」または「楽」と回答され、ほとんど全ての方が次回も経鼻内視鏡を希望されています（図4）。

図 4



N = 344

### 【 胃 癌 発 見 率 】

胃癌発見率では，経口法では発見率は0.85%（全国平均0.21%）ですが，経鼻法では1.11%と驚異的に向上し，特に早期胃癌の発見に貢献しています(図5,6)。

図 5

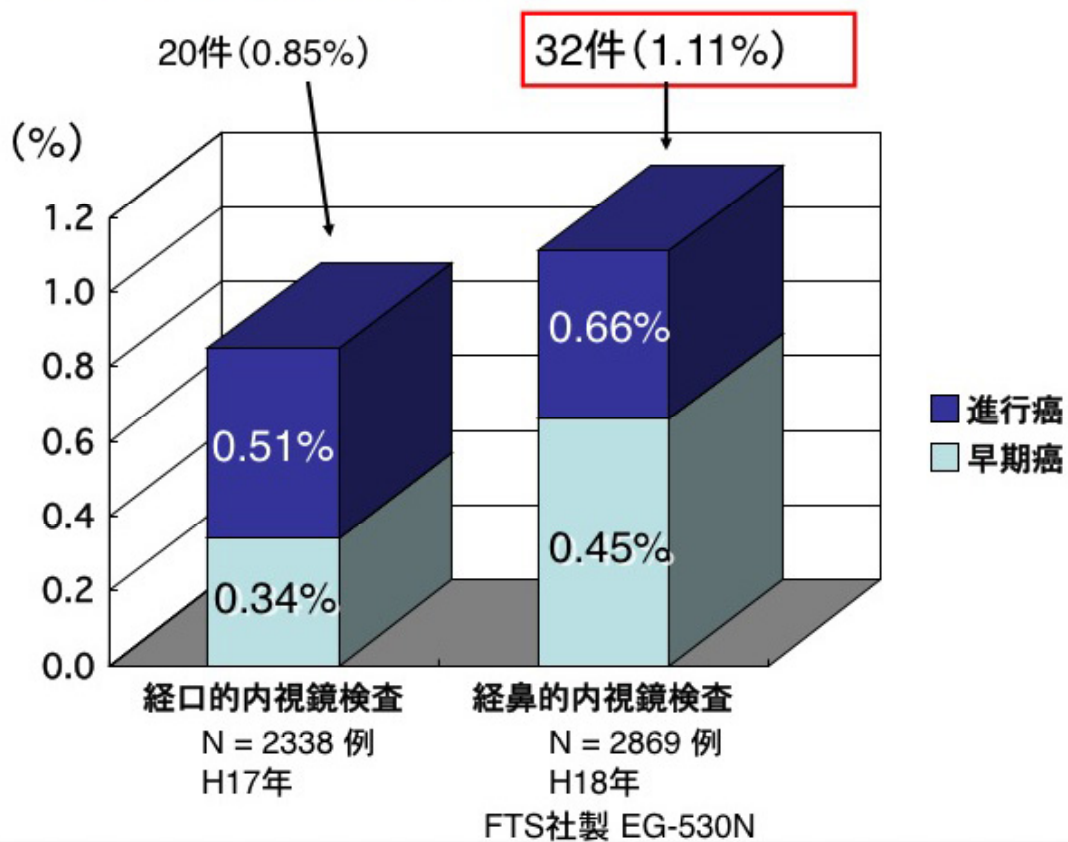
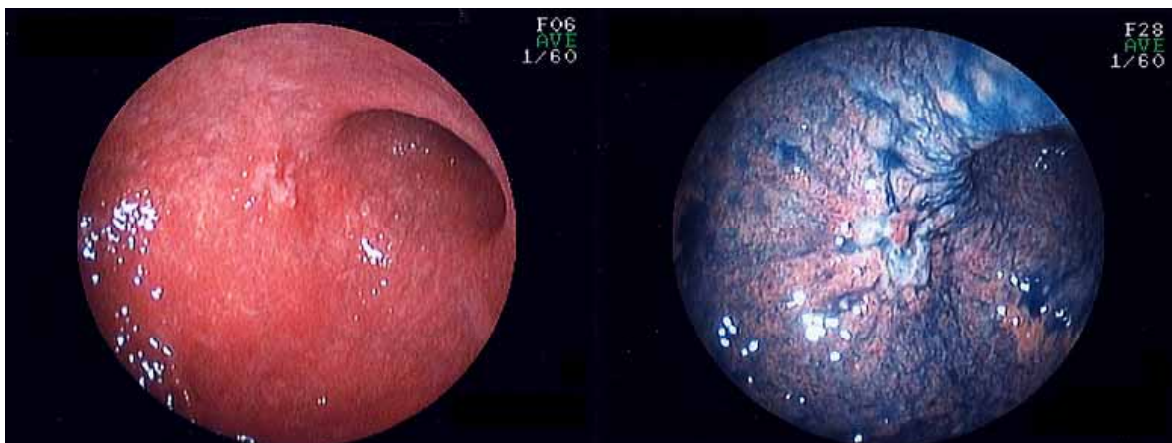


図 6



私自身の経験も踏まえて、これまで「胃カメラ」で辛い思いをされてきた患者様はもちろん、これから内視鏡を受けようと考えられている患者様にもお勧めです。吉島病院内視鏡室に是非お越しく下さい。